

（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

『PTSDにおける情動制御状態とCPT反応性の関係の解明』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

(1) 2012年7月～2017年9月に実施した研究(外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の実施可能性および有効性に関する研究。研究責任者:国立精神・神経医療研究センター 堀越勝)に参加された方

(2) 2014年1月～2019年10月に実施した研究(心的外傷後ストレス障害に対する集団版認知処理療法の有効性に関する研究。研究責任者:武蔵野大学 小西聖子)に参加された方

(3) 2016年3月から開始し2026年3月まで実施予定の研究(心的外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の有効性に関するランダム化比較試験 (SPINET) 研究責任者:国立精神・神経医療研究センター 伊藤正哉)に参加された方

【研究期間】

研究実施許可受領後より2027年5月31日まで

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター伊藤正哉

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

本研究では2012年7月～2017年9月に実施した研究(外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の実施可能性および有効性に関する研究)、2014年1月～2019年10月に実施した研究(心的外傷後ストレス障害に対する集団版認知処理療法の有効性に関する研究)、2016年3月から開始し2026年3月まで実施予定の研究(心的外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の有効性に関するランダム化比較試験 (SPINET))に参加された方で取得したご参加いただいた方のデータを二次利用し比較・検討させていただきます、認知処理療法(CPT)の有効性や効果などを明らかにすることを目的としています。

【利用又は提供する試料・情報等】

(a) 患者背景情報(年齢、性別、教育歴、家族歴、既往歴、治療歴、罹病期間、就業状況、治療抵抗性度)

(b) 評価尺度:MINI, CAPS, IES-R, PDS, BDI-II, TRGI, SF-8, OASIS, DES, PDS, 脳画像データ

(c) 脱落率、有害事象発生状況

作成年月日： 2023年 2月 28日 第2版（HP 掲載用）

【共同研究機関】

認知行動療法センター 部長 伊藤正哉
武蔵野大学大学院 人間社会研究科 センター長 小西聖子
防衛医科大学校 防衛医学研究センター 教授 長峯正典

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 認知行動療法センター 氏名 伊藤正哉

電話番号 042-341-2712

e-mail:masayait※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)
